

ひとりだち

きこえとことばの
支援センターだより
R8年6月号



みみの助

なんちようとくべつ し えんがっきゆうとうたんとうしゃがくしゅうかい 難聴特別支援学級等担当者学習会

5月27日(水)に難聴特別支援学級等担当者学習会を行いました。県内の難聴特別支援学級担当者や言語通級指導教室担当者、難聴乳幼児担当保育士等18名の方が参加されました。参加者の先生方への事前のアンケートでは、「補聴器(人工内耳)を着けていることで聞こえている様子だけど、どのように聞こえているのか」「どのように支援をしたらよいのか」といった内容が多く寄せられました。先生方は、ご自身の園や学校の子どもたちのためにできることはないかという熱い思いで参加してくださいました。

授業参観を含めた校内見学や『聴覚障がいの理解と支援について』の講話、グループ(乳幼児・小学校・中学校)に分かれての交流会を行いました。参加していただいた先生方からの感想を一部ご紹介します。

【校内見学について】

- ・校内全体を見られたことで聾学校での生活をイメージすることができた。
- ・視覚的な情報提示や指示の工夫など、環境づくりがとても参考になった。
- ・落ち着いた雰囲気の中で、子どもたちがリラックスしながら集中している姿が見られた。
- ・教室環境が分かりやすく構成され、ことばの獲得意欲を高める工夫が随所にあった。
- ・手話を用いながら、子どもと丁寧にコミュニケーションを取りつつ授業を進めていた。

【講話について】

- ・人工内耳の仕組みについて知ることができ、子どもへの支援を考える幅が広がった。
- ・聞こえに困難さを感じている子どもの気持ちをイメージ、理解して保育をしていきたい。
- ・難聴について分かりやすく説明があり、理解を深めることができた。
- ・文字などの視覚情報が、言葉を聞き取る手助けになることがわかった。
- ・補聴器では、聞きたい音だけでなく周囲の音も大きくなることを知り、環境調整の重要性を感じた。

【交流会について】

- ・質問への回答や他校での実践など、いろいろな視点から話を聞くことができ、とても勉強になった。
- ・保護者との連携の大切さを実感した。
- ・本人とよく話し合っって授業の在り方を考えていこうと思う。

今回の学習会に続き、8月にも同様の機会



が予定されています。こうした機会を生かしながら情報と共有し、共に学び続けることで、聾学校の子どもたちだけでなく、地域で学ぶ聴覚障がいのある子どもたちへの支援にもつなげていきたいと考えています。

ぎょうしゃらいこうよていび 業者来校予定日

* 理研産業 … 7月 8日 (毎月第2水曜日)

* 聞こえの田中(旧ナショナル補聴器センター) … 7月 15日 (毎月第3水曜日)

場所: 本館1階 補聴相談室 時間: 13時30分~相談が終わり次第終了

※イヤモールド作成、補聴器の不具合等の相談は、業者来校日の前に、担任を通じて各部の補聴相談係への連絡後、申し込み用紙の提出をお願いします。